



教育支援ニュース

No. 2

～大学での放射線授業～

今回は大学での「放射線」の出前授業を紹介します。
授業では「放射線の性質」の講義で放射線の正しい知識をスライドなどで分かりやすく説明。
また将来自分たちが教える側に立った時に生徒たちにどう教えるかのアドバイスを行いながら進めました。



この日は4人ずつのグループに分かれて様々な放射線の実験を行いました。

【霧箱実験】

放射線の飛跡を観察。
線源から出るα線を見る



【測定実験】

空気中や肥料などの試料から出る放射線を測定



【距離の実験】

線源からの距離と放射線量の関係を調べる



【遮へいの実験】

遮へい物と放射線量の関係を調べる

このほかにもサイコロを使った放射性崩壊(半減期)のシミュレーションも行いました。

ライトを当てて放射線が見えたのがとても面白く、子供たちも楽しめる実験だと感じた。また、五感で感じるできない放射線を身近に感じられる大切な実験だと思った。



放射線への理解が深まりました。
中学・高校では放射線に関する単元もあるので、今日得た知識を活かしたいです。

放射線に関する授業をしっかりと受けたのは初めてで色々新しい発見ができた。放射線には「さえぎる」「遠ざける」ことが重要だと聞いた事があり、実際に計測して実感した。

☆授業後のアンケートより・学生さんたちの感想☆

